

あんようじ あわじしまじゅんれい
安養寺 淡路島巡礼

所在地：淡路市 木曾下



「淡路島巡礼」淡路市 山本喜一氏撮影（第2回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品）

淡路島では、毎年5月12日～14日にかけて多くの巡礼客が訪れご詠歌を唱えます。淡路西国三十三観音霊場第22番である安養寺も、巡礼の季節には巡礼客で賑わいます。

安養寺は高野山真言宗のお寺であり、寺伝によれば、1323年に淡路廢帝の命により、大伽藍や坊が建ち並んでいたと伝えられています。室町時代の古文書に、舞樂が奉納されていたことが記されており当時の様子が伺えますが、現在は本堂だけが残っています。

また、先山千光寺と同様、「播州の獵師が矢のささった大猪を追いかけてやってきたところ、この地で胸に矢のささった千手観音像をみつけ、以後仏門にはいり寺を建立した」という伝承があり、先山千光寺の観音像と同じ木で本尊がつくられていると伝わっています。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
 - ✓ 歴史がつくりだす景観
 - 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮ICから、県道66号線を西へ、車で約30分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図